

川・過去も未来も大切に

吉田 葵

○私は今、は、きりいて『川』にきょう味
ありません。昔はきょう味があ、たかもしれ
ませんが、その思い出はほとんどありません。
そのことを考えながらありためて川のことを
考えてみよう、と思。たが、一つだけ思い出
すことがありました。それは、ようち園の時、
曳舟川親水公園という所で川遊びをしたこと

です。私の記憶だと、たぶん二十回位行、た
とがあると思います。この曳舟川は十九百
六十四年の東京オリンピックが開さいされた
ころまでは小魚などの生物が生息している川
でしたが、高度成長期に入ると生活雑排水や
メッキ工場からの排水が流れ込み、頻死の状
態とな、ていました。排水規制等によ、て、
水質は改善されたものの、葛西用水の一部区
間の公園化や葛西用水からの取引ができなく
な、たことにより、現在の曳舟川は支流も含

めて埋め立てられ、水路は存在しません。葛飾区の区間は、人口的な川を作り、曳舟川親水公園となったそうです。しかし、私にと、ての一番の『川』の思い出は、この曳舟川親水公園です。私達は本当の川のように思っているし、これからもこのように思い続けていきたいと思っています。毎もいいとは思いますが、川もちが、た楽しさがあります。美しい思い出は、美しい川から。